

# Adobe Illustrator で作成したデータを LaserCut でインポートする場合の設定

## 【 Illustrator ファイルのインポート注意 】

- ・ Illustrator の保存設定で圧縮したものは、インポートできません。
- ・ テキストはアウトライン化をしなければなりません。
- ・ アウトライン以外はインポートされません。
- ・ 貼付画像はインポートされません。
- ・ 複数カラーで制作した場合、複数のレイヤーに分割された状態でインポートされます。
- ・ 登録したブラシは削除して下さい。

## 【 Illustrator のバージョン 】

インポート可能な AI ファイルのバージョン一覧

AI ファイルのバージョン	インポート可否
3.0/3.2	×
4	×
5.0/5.5	△
6	△
7	○
8	△
9	×
10	○
CS	☆
CS2	★
CS3	★
CS4	★
CS5	★
CS5.5	★
CS6	★
CC	★

- × : インポート不可
- △ : 警告ダイアログが表示されるがインポートは可能
- : インポート可
- ☆ : 要注意 ([Illustrator CS での保存について](#) 参照)
- ★ : 要注意 ([Illustrator CS2~ での保存について](#) 参照)
- : 未検証

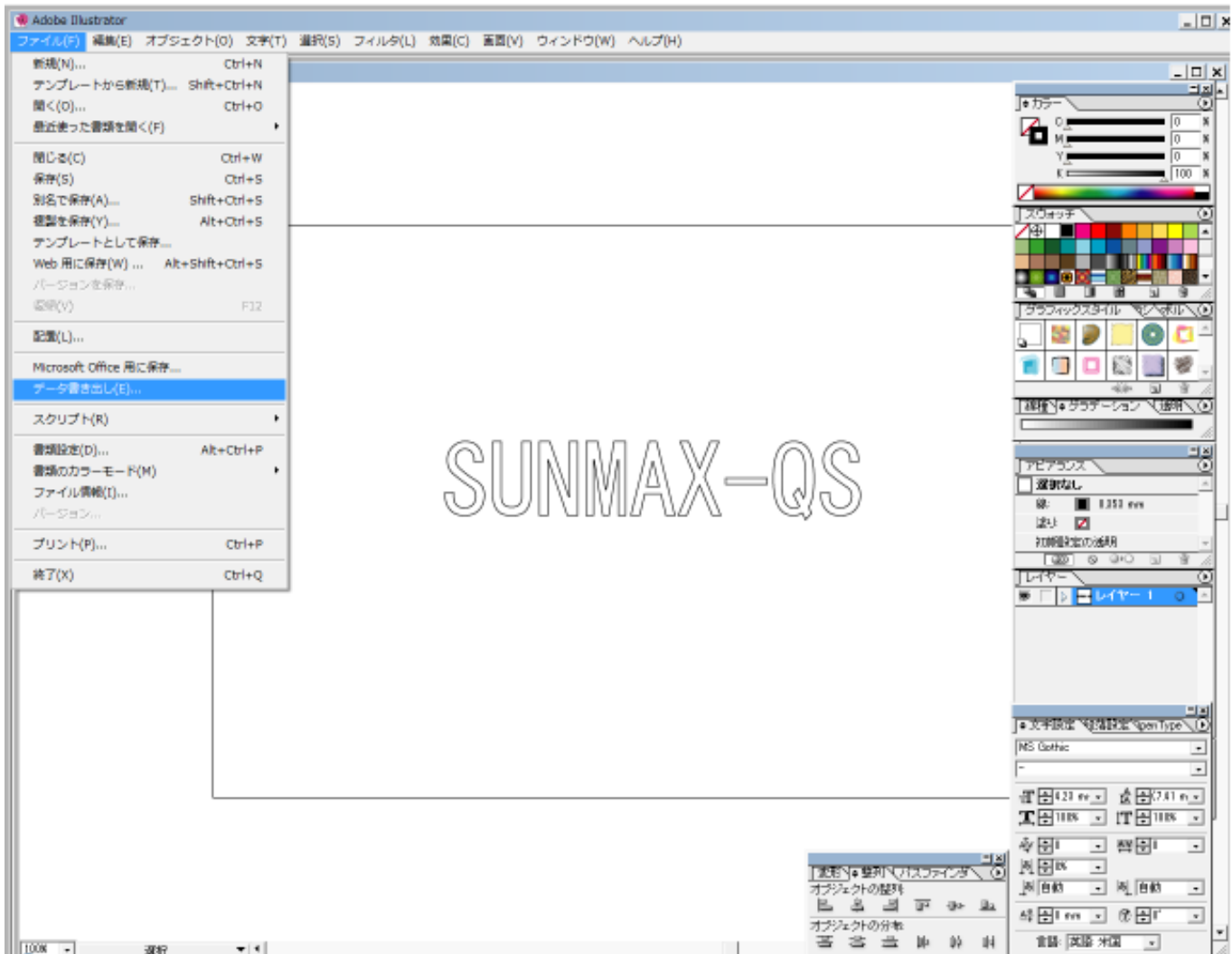
※ 検証は Windows 版の Illustrator で行いました。

※ インポートの際に LaserCut が強制終了してしまう場合、正しくデータがインポートできない場合は、「[強制終了するデータ、正しくインポートできないデータについて](#)」を参照してください。

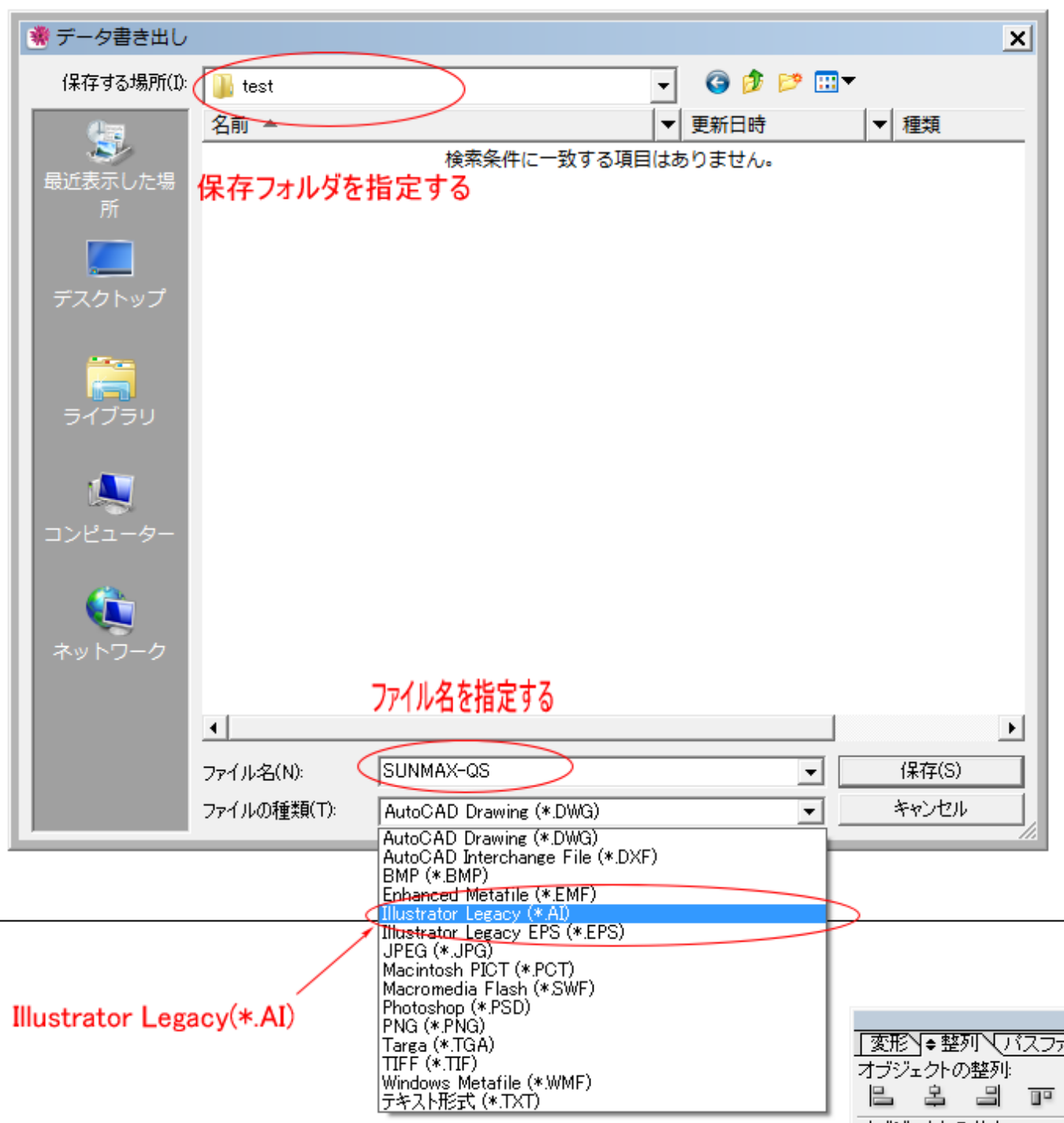
## 【 Illustrator CS での保存について 】

Illustrator CS は「別名で保存する」場合、オプションが指定できません。このため、データ内容によっては、LaserCut でインポートしようとする、LaserCut が異常終了してしまう場合があります。  
この現象を回避するために、下記の手順でデータを保存してください。

- ① データを作成し保存するときに、メニューの「ファイル」－「データ書き出し」をクリックします。

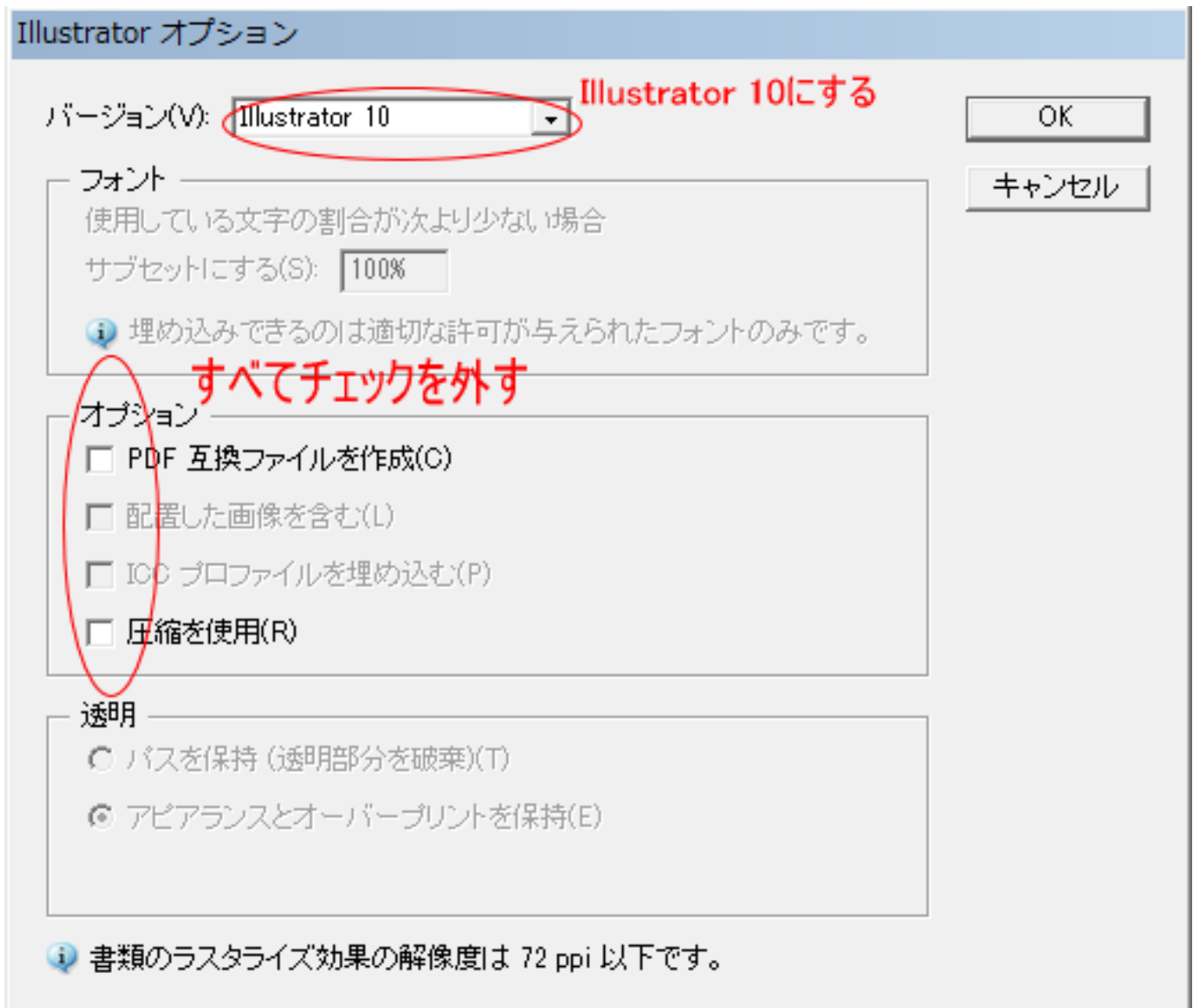


- ② 「データ書き出し」ダイアログが表示されるので、「保存する場所」「ファイル名」を任意に設定します。  
「ファイルの種類」は「Illustrator Legacy (\*.AI)」にします

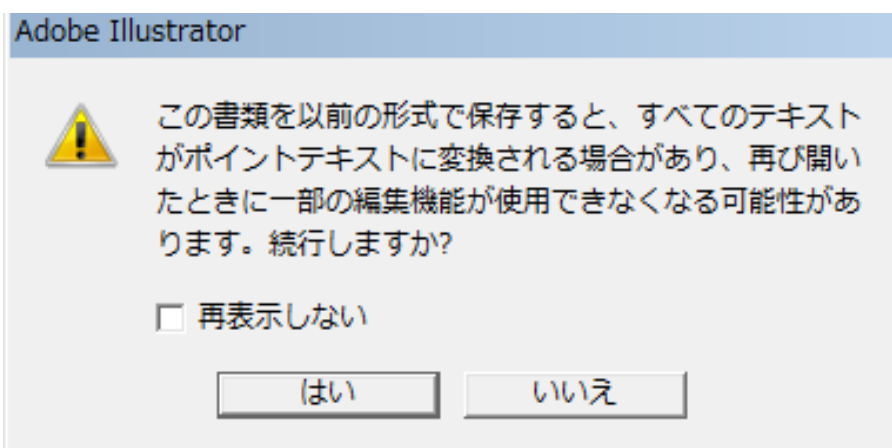


設定したら「保存」をクリックします。

③ 「Illustrator オプション」ダイアログが表示されるので、下図のようにオプション項目のチェックをすべて OFF にして、OK ボタンをクリックします。



④ 下図のようなダイアログが表示されますが、「はい」をクリックします。



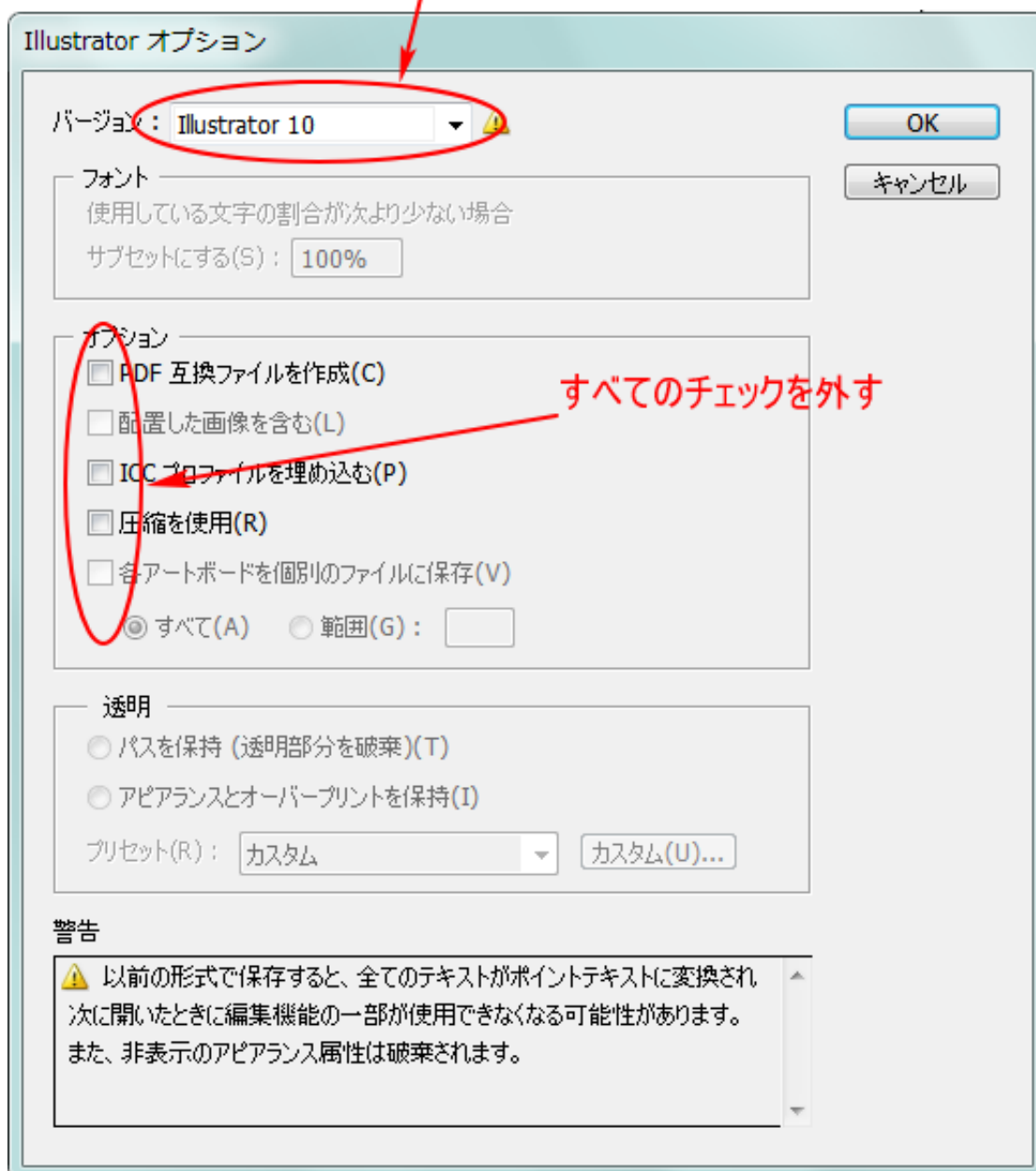
Illustrator CS での LaserCut 用インポートデータの作成は以上です。

## 【 Illustrator CS2～ での保存について 参照 】

Illustrator CS2 以降のバージョンで ai ファイルとしてデータを保存した場合、LaserCut でインポートはできませんが、データ内容によって、加工できない (LaserCut から加工機へデータのダウンロードができない) 場合があります。アウトライン情報のみがインポートされ、その他の情報が欠損するため、LaserCut 上では一見正しく表示されますが、サイズ情報などが欠損しており、加工はできません。

このような現象を防止するには、Illustrator から ai 形式で保存する際に、バージョンを「Illustrator 10」に設定して下さい。

Illustrator 10に変更する



## 【 強制終了するデータ、正しくインポートできないデータについて 】

Illustrator のデータ内容によって、インポートの際、「ファイルを開く」ダイアログでファイルを指定した瞬間に LaserCut が強制終了する場合、あるいは、インポートしたデータが正しくない場合があります。

完全な回避方法はありません。以下の方法を試し、対処してください。

① Illustrator のバージョンを変更して保存します

- ※ バージョンを下げることによって改善する場合と、上げることによって改善する場合があります。
- ※ 変更しても改善しない場合があります。

② それでも駄目なら、バージョンを下げたファイルをもう一度 Illustrator で開いて、今度は Illustrator で新規作成して、その空白のシートに、開いたデータを全コピー、貼付します。再度、バージョンを下げた状態で保存してください。

③ 彫刻または傾斜彫刻を行う場合は、Illustrator で「書き出し」を行い、モノクロビットマップファイル化します。それを LaserCut でインポートします。切断データはこの手は使えません。

④ Illustrator で「書き出し」を行い、DXF 形式で保存します。それを LaserCut でインポートします。この方法は LaserCut でインポートしたあと、データの修正が必要になる場合があります。

⑤ Illustrator の ai 形式ファイルをコーレル・ドローなどの他のソフトウェアで開き、若干編集をして、再び ai 形式で保存します。そうすると、インポートできる場合があります。

⑥ Illustrator の ai 形式ファイルをコーレル・ドローで開き、ファイル形式を DXF または PLT で保存します。その DXF または PLT ファイルを LaserCut でインポートします。

⑦ Illustrator 上でインポートできないデータを複数に分割して、複数のファイルに保存します。そして LaserCut で複数のファイルをインポートします。複数ファイルのデータは、クリッピングマスクなどを使用して、それぞれの相対位置がずれないようにする必要があります。